

地域の医療を守るために、皆さんの協力が必要です。地域医療を支えている方々へ感謝の気持ちを忘れずに。

## 守る

### 【地域医療を守る】

- 「益田の医療を守る市民の会」の活動支援・連携

### 【救急医療を守る ⇒ 病院勤務医を守る】

- 益田市休日応急診療事業（診療時間午前9時から午後1時）  
患者実績：H22年度 1,407名
- ますだ健康ダイヤル24（健康医療電話相談24時間無料）  
相談実績：H22年度 1,557件

### 【周産期医療を守る】（周産期とは妊娠22週から生後満7日未満）

- 周産期医療維持・継続等支援事業  
10,000円×前年度の分娩件数を益田赤十字病院に助成
- 産科医等確保（分娩手当）支援事業  
分娩1件当たり10,000円を産科医に支給（市補助1/3）

### 【病院を守る ⇒ 地域医療を守る】

- 【益田赤十字病院新病院建設支援】
- 【公的病院に対する財政支援】
- 【医師との意見交換会実施】  
7月28日 益田市医師研究貸付金対  
8月4日 益田赤十字病院常勤医師  
9月13日 松ヶ丘病院常勤医師  
2月17日 益田市医師会立医師会病院常勤医師
- 市広報への紹介  
市内医師の紹介 5人



## 益田市

### 【地域医療対策室】

### 22年度の取組み

### 実績状況報告

問合せ先 0856-31-0213

#### □ 確認してみましょう

- かかりつけ医を決めている。
- 救急車は本当に必要な時だけ利用するように決めている。
- コンビニ受診は控えている。  
診療時間内の受診を心がけましょう。
- 電話相談窓口を知っている。  
どうしたらいいかわからないとき、夜間でも相談できます。

## 育てる

- 島根大学医学部医学科地域枠推薦入学への市長推薦  
島根県のへき地医療に貢献したい強い意志を持った学生を市長推薦入学状況（5年生1人、3年生1人、2年生2人 1年生4人）
- 秦佐八郎（はた・さはちろう）博士顕彰医学生奨学金貸付制度  
市内の地域医療を担う医師確保のため医学生へ奨学金貸付月額5万円、市内の医療機関への勤務により返還免除貸付状況（5年生1人、3年生1人、2年生3人 1年生4人）
- 石見高等看護学院地域枠推薦入学への市長推薦  
卒業後市内で就業することを確約する学生を市長推薦入学状況（3年生4人、2年生4人、1年生7人）
- 医学生、看護学生との意見交流会  
石見高等看護学院地域枠入学生徒の意見交換 7月28日開催  
島根大学医学部入学者との意見交換 11月10日開催
- 中学生地域医療現場体験事業  
平成22年10月22日 益田中の3年生5名が、益田赤十字病院で実習
- まんが「秦佐八郎」市内小・中・高等学校全学級配布
- 冊子「くま先生のSOS」市内全地区振興センター、市内小・中・高等学校、放課後児童クラブ、保育所、幼稚園配布
- 市広報への紹介  
島根大学医学部入学学生の紹介 10人

## 招く

### 医療関係者を益田市へ

- 情報収集 高校・地区振興センター・同級生・地元医師等々
- 情報発信 市長メッセージ、市からの便り
- 大学医学部訪問
- 医師研究・研修資金貸付制度  
新たに市内の病院に赴任する医師に対し、赴任初年次に研究研修資金を貸付1人120万円、1年間の病院勤務により返還免除貸付状況 累計25人
- レジナビフェア2010in大阪（研修病院合同説明会）への参加  
平成22年7月4日に益田赤十字病院と合同で参加、ブース来場15人
- レジナビフェア2011in福岡（研修病院合同説明会）への参加  
平成23年2月13日に益田赤十字病院と合同で参加、ブース来場27人



## 学ぶ

- 各地区での医療の現状説明会～益田保健所・市
- 地域医療教育シンポジウム  
平成22年12月11日 市民学習センターで開催 主催：益田市・島根大学医学部
- 「地域医療を守り・育てる住民活動全国シンポジウム」への参加  
平成22年7月3～4日 福原市長をはじめ益田の医療を守る市民の会の会員と一緒に参加
- 地域医療連携先進地視察  
平成22年11月22日 千葉県立東金病院及び市内薬局へ訪問  
福原市長、益田市議会地域医療対策特別委員会から2名、益田の医療を守る市民の会から2名参加  
医師不足の現状把握と医師確保への取組事例紹介、広域電子カルテによるネットワーク現場の見学

